

令和2年6月23日

関係加盟団体会長 様

公益財団法人広島県体育協会
会 長 神出 亨



第75回国民体育大会（鹿児島県）延期に伴う第75回国民体育大会
中国ブロック大会の中止について（通知）

平素から本協会諸事業の推進にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別紙のとおり第75回国民体育大会（第76回冬季大会）中国ブロック
大会鳥取県実行委員会から第75回国民体育大会（鹿児島県）延期の決定を受け、
第75回国民体育大会中国ブロック大会の中止が通知されました。

つきましては、関係者への周知をお願いします。

国中ブ鳥実第17号
令和2年6月22日

第75回国民体育大会（第76回冬季大会）
中国ブロック大会開催競技団体会長
中国ブロック各県体育・スポーツ協会長
開催市町村教育委員会教育長
開催市町村体育協会長
各県教育委員会教育長
各県所管部（課）長
報道関係

} 様

第75回国民体育大会（第76回冬季大会）
中国ブロック大会鳥取県実行委員会
会 長 中永 廣樹
（ 公 印 省 略 ）

第75回国民体育大会（鹿児島県）延期に伴う第75回国民体育大会中国ブロック大会
の中止について（通知）

本県の体育・スポーツ振興について、日ごろから御理解・御協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、別紙のとおり、令和2年6月19日付事務連絡にて日本スポーツ協会から「第75回国民体育大会（鹿児島県）の開催について」の文書と6月19日の記者会見で、今年秋には開催しない、との発表がありました。

つきましては、第75回国民体育大会中国ブロック大会を中止といたします。

なお、第76回国民体育大会冬季大会中国ブロック大会は、現段階では、開催予定としております。

〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地
鳥取県議会棟別館1階
公益財団法人鳥取県スポーツ協会
競技力向上担当 吉岡千春
電話：0857-26-7804 FAX：0857-26-8133
電子メール：yoshioka-c@sports-tottori.com

事 務 連 絡
令和 2 年 6 月 19 日

関 係 各 位

公益財団法人日本スポーツ協会

第 75 回国民体育大会（鹿児島県）の開催について

平素より当協会スポーツ推進事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、標記の件につきまして、本日（令和 2 年 6 月 19 日）、当協会、スポーツ庁、鹿児島県及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の 4 者による記者会見を開催し、下記のとおり、発表いたしましたので、ご連絡申し上げます。

記

1. 記者発表内容：別紙をご参照ください。

【お問合せ先】

国体推進部国体課

TEL：03-6910-5808

E-mail：kokutai@japan-sports.or.jp

資料 1

令和 2 年 6 月 19 日
公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
文部科学省・スポーツ庁
鹿児島県

第 75 回国民体育大会並びに第 20 回全国障害者スポーツ大会の 取扱いについて

第 75 回国民体育大会（以下「鹿児島国体」という。）並びに第 20 回全国障害者スポーツ大会（以下「鹿児島大会」という。）の取扱いについては、以下のとおりとする。

1. 鹿児島国体及び鹿児島大会は、今年秋には開催しない。
2. 鹿児島国体及び鹿児島大会は延期することとし、具体的な開催時期については、可能な限り早期の結論を得るべく、引き続き、調整・検討を継続する。

鹿児島国体・鹿児島大会を今年の秋に開催しない理由

- 鹿児島国体・鹿児島大会は、選手・監督だけで約3万人、観客を含めると延約80万人の来場を見込む全国的な大規模イベントであり、ワクチンの開発や治療方法が十分ではない状況の中、第2波・第3波の懸念や県内の医療体制等を踏まえると、大勢の人の移動に伴う感染拡大リスクが払拭されていないため、来県者や県民の安全確保を考えると、今年秋の開催は困難との判断があること。
- 4月時点で、鹿児島国体の都道府県予選会の約6割以上が延期や中止の検討をしており、その後、東北ブロック大会と九州ブロック大会を中止とするなど、通常通りの予選会やブロック大会の開催が困難であること。
- 4月時点で、鹿児島大会の都道府県予選会の約7割、ブロック大会の9割以上が延期や中止の検討をしており、通常通りの予選会やブロック大会の開催が困難であること。
- 鹿児島国体選手団を派遣する都道府県体育・スポーツ協会から、都道府県予選会やブロック大会が開催されなければ、公平・公正な選手選考が困難であるとの意見が多数寄せられていること。
- 鹿児島大会選手団を派遣する都道府県・指定都市からは、選手選考を行っても選手自身から参加を辞退される可能性や感染症対策が十分に講じられ、安全・安心が確保されることが必要であるとの意見が多数寄せられていること。
- 緊急事態宣言下（5月25日全面解除）で選手の練習環境が著しく制限されていたことから、選手が準備不足で都道府県予選会やブロック大会に臨むことによる外傷・障害のリスクが大きいこと。
- 専門家（医師）からは、大勢の人が移動すること自体が感染拡大のリスクになり、約1年程度は、予選会・ブロック大会もある国体のような大規模スポーツイベントは、開催は困難である旨の助言。
- 鹿児島国体・鹿児島大会の開催により、国内において新型コロナウイルス感染症の拡大を誘引してはならないということ。